





株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループの第150期第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の事業概況を謹んでご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調が続きました。海外では、アジア新興国などにおいて弱さが見られたものの、米国や欧州などの先進国を中心に緩やかに回復しました。

当社グループにおきましては、セラミックス事業では、米国・欧州市場の乗用車販売や米国市場のトラック販売が好調であったことなどから、自動車関連製品の需要が堅調に推移しました。エレクトロニクス事業では、半導体メーカーの微細化・高積層化投資を背景に半導体製造装置用セラミックス製品の需要が増加したほか、平成27年1月に連結子会社となったNGKエレクトロデバイス株式会社の業績が加わりました。電力関連事業においても、海外向けに電力貯蔵用NAS<sup>®</sup>電池(ナトリウム/硫黄電池)の大口案件を出荷いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比25.3%増の2,105億82百万円と第2四半期連結累計期間としては過去最高となりました。利益面でも、売上高の増加や為替円安の影響などにより、営業利益は前年同期比43.7%増の413億31百万円、経常利益は同49.8%増の402億61百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同36.8%増の274億88百万円と第2四半期連結累計期間としては過去最高となりました。

今後の経済動向につきましては、中国、新興国の成長鈍化、さらには欧州自動車メーカーによる排ガス処理の不正問題など、先行きに不透明感はあるものの、足元では、日本や米国などで回復基調が続いています。当社グループでは、各国の排ガス規制強化に伴いセラミックス事業で自動車関連製品が堅調に推移していること、新規に取得したNGKエレクトロデバイス株式会社の業績が通年で反映されること、電力関連事業でもNAS<sup>®</sup>電池の九州電力株式会社向け大口案件に係る出荷を予定していることなどから、現時点での連結通期業績見通しにつきましては、売上高は前期比13.6%増の4,300億円と過去最高となる見通しです。利益面でも、増収や為替の影響により、営業利益は、16.9%増の720億円、経常利益は22.0%増の745億円、親会社株主に帰属する当期純利益は22.9%増の510億円と過去最高を更新する見通しです。

当期の中間配当金につきましては、当期の業績および今後の業績見通しを総合的に勘案し、1株あたり18円とさせていただきます。

このような状況のもと、当社グループの収益と成長を牽引するセラミックス事業では、自動車関連製品においてタイ生産拠点の新設、石川工場およびポーランド工場の拡充など、需要拡大に対応したグローバルに効率的な生産体制を着実に構築し、高付加価値製品の市場投入や原価低減を進め、収益性向上に努めます。

電力関連事業においては、国内で高度成長期以降に設置したがいしの取替需要が今後、拡大する見通しです。引き続き、事業再構築によるスリム化とコストダウンを進め、持続的に収益を生み出せる体質への転換を図ってまいります。NAS®電池については、電力系統向けの長時間用途は未だ限定的であり、継続的な受注獲得と設計・製造コストダウンの推進により収益性の確保に努めてまいります。

エレクトロニクス事業では、半導体製造装置用セラミックス製品において製品の高性能化と革新的な製法の確立により競争力の強化を進めております。電子部品については、既存製品に代わるウエハー製品など新製品の創出に注力し、さらには、NGKエレクトロデバイス株式会社と既存事業のシナジー効果を追求し事業成長を図ってまいります。

また、全社的に取り組んでいる新・ものづくり構造革新においては、2020年以降もグローバル市場で勝ち抜いていくため、従来の発想にとらわれない、意欲的な目標とその達成を目指す「新たな挑戦活動」をスタートしました。またグローバル事業展開を加速するために、本社部門においても高い専門性と戦略性を発揮すべく「本社力アップ」活動を推進し、世界に通用するグローバル企業を目指します。

最後に、当社グループに対する競争法調査についてご説明いたします。

当社の米国子会社が平成23年10月に米国司法省より文書提出命令を受領後、自動車用触媒担体に関する当該調査に対し、当社は平成24年に独立委員会を設置するなど全面的に協力してまいりました。このたび適用法令や事実関係などを総合的に検討した結果、当社は平成27年9月、同省との間で自動車用触媒担体の取引の一部に関して米国反トラスト法違反などがあったとして、罰金6,530万米ドルを支払うことを主な内容とする司法取引に合意いたしました。お客様や株主・投資家の方々をはじめとする関係者の皆様に多大なるご心配をおかけしましたこと、心からお詫び申し上げます。

当社グループでは法令順守を重要な経営課題と位置付けており、グローバルコンプライアンス室を設置するなど、コンプライアンス体制を整備してまいりました。このたびの事態を厳粛に受け止め、コンプライアンス体制のさらなる強化、全役員と全従業員を対象とした競争法をはじめとする関係法令教育の徹底などにより企業風土の刷新、再発防止と信頼回復に一層努力してまいります。さらに平成27年10月30日開催の当社取締役会では社外役員を中心とした経営倫理委員会、指名・報酬諮問委員会などの新たな会議体を設置する方針を決議し、より充実したコーポレートガバナンス体制を実現してまいります。

ステークホルダーの皆様から高い信頼をいただけるように、CSRやガバナンスを一層強化する一方、セラミックス技術の先進性を活かすことで持続的な成長と企業価値の向上を実現し、資本効率重視、株主重視の経営を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月

取締役社長

大島 卓

### 電力関連事業部門

当事業の売上高は、338億11百万円と、前年同期に比べて19.9%増加しました。

海外向けにNAS®電池の大口案件を出荷しました。

営業利益は、3億90百万円(前年同期は15億93百万円の営業損失)となりました。



### セラミックス事業部門

当事業の売上高は、1,227億71百万円と、前年同期に比べて15.2%増加しました。

米国・欧州市場の乗用車販売や米国市場のトラック販売が好調であったことなどにより、自動車関連製品の需要が堅調に推移しました。

営業利益は、前年同期比26.5%増の349億79百万円となりました。



### エレクトロニクス事業部門

当事業の売上高は、540億63百万円と前年同期に比べて62.5%増加しました。

半導体メーカーの微細化・高積層化投資を背景に半導体製造装置用セラミックス製品の需要が増加したほか、平成27年1月に連結子会社となったNGKエレクトロデバイス株式会社の業績が加わりました。

営業利益は、前年同期比122.5%増の59億62百万円となりました。



四半期連結貸借対照表 (平成27年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>416,785</b>	<b>流動負債</b>	<b>124,040</b>
現金及び預金	91,806	支払手形及び買掛金	34,794
受取手形及び売掛金	85,532	短期借入金	5,110
有価証券	87,038	1年内返済予定の長期借入金	26,903
たな卸資産	122,123	未払法人税等	5,900
その他	31,624	NAS電池安全対策引当金	6,540
貸倒引当金	△1,339	その他	44,790
<b>固定資産</b>	<b>308,747</b>	<b>固定負債</b>	<b>178,829</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>204,810</b>	長期借入金	132,195
建物及び構築物(純額)	63,517	退職給付に係る負債	20,336
機械装置及び運搬具(純額)	91,524	その他	26,297
その他(純額)	49,768	<b>負債合計</b>	<b>302,870</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>3,664</b>	<b>純資産の部</b>	
<b>投資その他の資産</b>	<b>100,272</b>	<b>株主資本</b>	<b>387,164</b>
投資有価証券	75,529	資本金	69,849
その他	24,906	資本剰余金	72,086
貸倒引当金	△163	利益剰余金	246,630
<b>資産合計</b>	<b>725,533</b>	自己株式	△1,402
		<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>23,244</b>
		その他有価証券評価差額金	22,998
		繰延ヘッジ損益	4
		為替換算調整勘定	6,796
		退職給付に係る調整累計額	△6,556
		<b>新株予約権</b>	<b>968</b>
		<b>非支配株主持分</b>	<b>11,285</b>
		<b>純資産合計</b>	<b>422,663</b>
		<b>負債純資産合計</b>	<b>725,533</b>

(百万円未満切捨)

四半期連結損益計算書 (平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
<b>売上高</b>	<b>210,582</b>
売上原価	136,837
<b>売上総利益</b>	<b>73,744</b>
販売費及び一般管理費	32,412
<b>営業利益</b>	<b>41,331</b>
営業外収益	3,075
営業外費用	4,146
<b>経常利益</b>	<b>40,261</b>
特別利益	405
特別損失	137
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>40,529</b>
法人税、住民税及び事業税	8,808
法人税等調整額	4,037
<b>四半期純利益</b>	<b>27,683</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	195
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>27,488</b>

(百万円未満切捨)

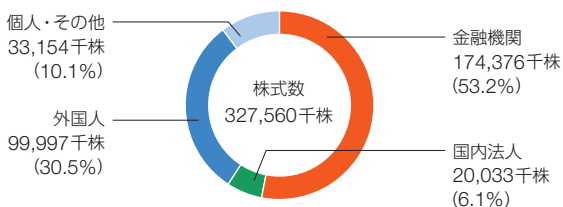
## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	37,895	11.60
第一生命保険株式会社	21,457	6.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,663	6.32
明治ア田生命保険相互会社	18,695	5.72
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	11,636	3.56
株式会社三菱東京UFJ銀行	10,292	3.15
ザ バンク オブ ニューヨーク ノントリーティ ージャスディック アカウト	5,524	1.69
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	4,387	1.34
日本生命保険相互会社	4,313	1.32
全国共済農業協同組合連合会	4,309	1.31

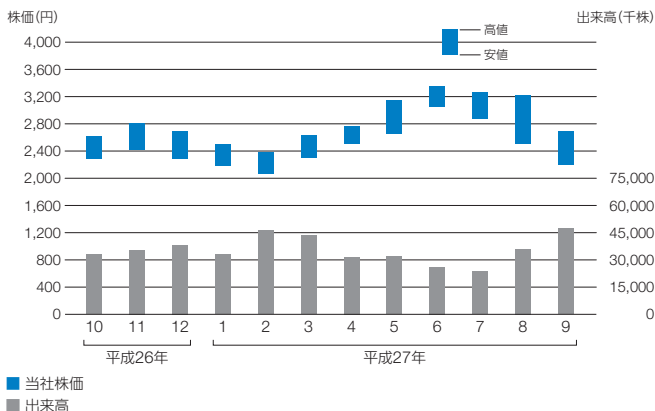
(注) 上記持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数(1,015,579株)を控除した株数を基準として算出し、小数点第3位以下を切り捨ててしております。

## 株式の情報

発行可能株式総数 735,030,000株  
 発行済株式の総数 327,560,196株  
 株主数 19,129名



## 株価の推移



## 会社概要

表記社名	日本ガイシ株式会社		
商号	日本碍子株式会社		
	NGK INSULATORS, LTD.		
代表者	代表取締役会長	浜本	英嗣
	代表取締役社長	大島	卓
	代表取締役副社長	武内	幸久
設立	大正8年5月5日		
資本金	69,849百万円		

## 役員

\*は代表取締役

* 取締役会長	浜本 英嗣	取締役	佐治 信光
* 取締役社長	大島 卓	取締役	丹羽 智明
* 取締役副社長	武内 幸久	取締役(社外)	蒲野 宏之
取締役	坂部 進	取締役(社外)	中村 利雄
取締役	蟹江 浩嗣	常勤監査役	水野 丈行
取締役	岩崎 良平	常勤監査役	杉山 謙
取締役	齋藤 英明	監査役(社外)	田中 節夫
取締役	石川 修平	監査役(社外)	寺東 一郎

## 執行役員

\*は取締役を兼務

* 社長	大島 卓	執行役員	山本 秀樹
* 副社長	武内 幸久	執行役員	手嶌 孝弥
* 専務執行役員	坂部 進	執行役員	松田 敦
* 専務執行役員	蟹江 浩嗣	執行役員	美馬 敏之
* 常務執行役員	岩崎 良平	執行役員	酒井 均
* 常務執行役員	齋藤 英明	執行役員	松田 弘人
* 常務執行役員	石川 修平	執行役員	辻 裕之
* 常務執行役員	佐治 信光	執行役員	山田 智裕
* 常務執行役員	倉知 寛	執行役員	山田 忠明
* 執行役員	丹羽 智明		

## 株式メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

剰余金の配当基準日 期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関

同連絡先

〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-232-711(通話料無料)(平日9:00-17:00)

公告方法

電子公告により当社ホームページ(<http://www.ngk.co.jp/IR/kessan>)に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由により電子公告することができない場合は、日本経済新聞および名古屋市において発行する中日新聞に掲載いたします。

## 1 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先までお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>・単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>・住所・氏名などのご変更</li> <li>・特別口座の残高照会</li> <li>・配当金の受領方法の指定*</li> </ul>	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目 10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料) (平日9:00-17:00)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・郵送物などの発送と返戻に関するご照会</li> <li>・支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>・株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿管理人	<b>手続き用紙のご請求方法</b> <input type="checkbox"/> 音声自動応答電話によるご請求 TEL 0120-244-479(通話料無料) <input type="checkbox"/> インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

\*特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

## 2 証券会社などの口座に記録された株式

証券会社などの口座に記録された株式の各種お手続きにつきましては、一部を除き原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・郵送物などの発送と返戻に関するご照会</li> <li>・支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>・株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目 10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料) (平日9:00-17:00)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記以外のお手続き、ご照会など</li> </ul>	口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。	